

# EnOcean IoT スターターキット クイック接続ガイド

EnOcean IoT スターターキットは、E-Kit ゲートウェイ（以下、「E-Kit」と表示します）とパソコンをインターネットに接続すると E-Kit と接続済みのセンサデータのモニタリングがすぐに始められます。

1. 梱包物を確認

2. E-Kit を起動

3. センサの接続を確認

4. インターネット接続を確認／設定

5. iBRESS Cloud 接続設定を確認

6. 監視画面の表示を確認

7. センサデータの状態変化を確認

## 1. 梱包物を確認

「付録1：梱包物・マニュアルダウンロード 一覧」にて梱包物を確認してください。  
万一、不足しているものある場合はサポート窓口（support@ibress.com）までご連絡をお願いします。

## 2. E-Kit の起動

スターターキットではインターネット環境が必要です。また E-Kit とインターネットの接続には LAN ケーブルを用いて接続します。

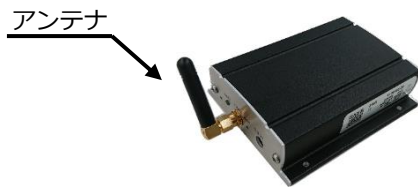
以下をご準備ください。特別な記載がない限り、付属品以外は使用しないでください。

- ・インターネット環境
- ・LAN ケーブル

### 2.1. E-Kit の電源を入れる

E-Kit 左側面へアンテナ、AC アダプタを取り付け、E-Kit を起動します。

- ①アンテナを本体左側面「ANT」端子に取り付けます。  
※付属品以外は使用しないでください。



- ②コンセントへ差した AC アダプタを「5V DC」端子に差し込みます。  
※付属品以外は使用しないでください。



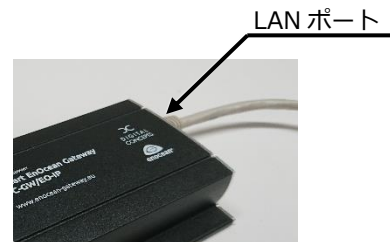
- ③「PWR ランプ」が点灯（青）していることを確認します。



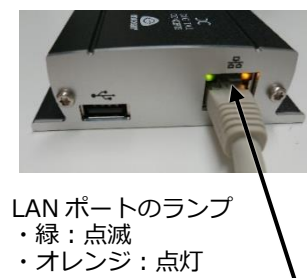
### 2.2. LAN ケーブルを取り付ける

E-Kit の LAN ポートに LAN ケーブルを取り付け、インターネットへ接続します。

- ①インターネット環境へ接続可能なルーター等に取り付け済みの LAN ケーブルを E-Kit 「LAN ポート」へ接続します。



- ②LAN ポートのランプ状態（緑：点滅、オレンジ：点灯）を確認します。



E-Kit の起動は以上です。

### 3. センサの接続を確認

センサの接続確認には、E-Kit の設定を行う Gateway コントローラー「Gateway システム設定」画面を Web ブラウザで表示して確認します。

- ・ DHCP を利用する場合は → [3.1 センサの接続を確認 \(DHCP を利用する\)](#) へ
- ・ DHCP を利用しない場合は → [3.2. センサの接続を確認 \(DHCP を利用しない\)](#) へ

#### 3.1. センサの接続を確認 (DHCP を利用する)

以下をご準備ください。

- ・ DHCP を利用したネットワーク環境 (インターネット環境) に接続されたパソコン
  - ・ OS : Windows (弊社推奨 : Windows10)
  - ・ Web ブラウザ : Internet Explorer (弊社推奨 : Internet Explorer 11)
- ・ EnOcean IoT スターターキット利用開始通知書 (以下、「利用開始通知書」と表示します)

##### 3.1.1. E-Kit の IP アドレスを取得する

**【注意！】**  
E-Kit が複数ある場合は、1 台ずつ接続してください。

①『手順 2.2.②』で E-Kit を接続したネットワーク環境へ接続しているパソコンを起動します。

②パソコンのエクスプローラーから「ネットワーク」を開き、「ネットワーク インフラストラクチャ」を確認します。



エクスプローラー  
ネットワーク

③E-Kit が「Linux Internet Gateway Device」の名称で表示されているので、その上でマウスを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。



④開いた「Linux Internet Gateway Device のプロパティ」で「IP アドレス」をコピーします。

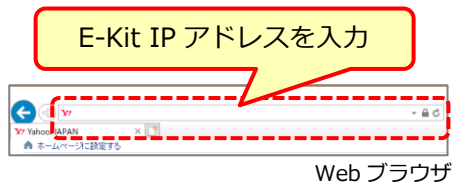


Linux Internet Gateway Device の  
プロパティ

**【注意！】**  
「DHCP を利用する」場合は、E-Kit の電源を OFF/ON した場合やネットワーク接続から取り外した後に再度ネットワークへ接続した際は E-Kit の IP アドレスが変わる場合があります。  
E-Kit の電源 OFF/ON 等を行った場合は、「Gateway コントローラー画面」を表示する前に IP アドレスをご確認ください。

### 3.1.2. E-Kit コントローラー画面を表示する

①『手順 3.1.1.④』でコピーした IP アドレスを Web ブラウザのアドレスバーに入力し、エンターキーを押すと Gateway コントローラー「Gateway ログイン」画面が表示されます。



Web ブラウザ

### 3.1.3. コントローラー画面にログインする

①Gateway コントローラー「Gateway ログイン」画面で「Username、Password」に「利用開始通知書【E-Kit】Gateway コントローラー」の「Username、Password」を入力し、ログインします。



Gateway ログイン

②ログインに成功すると「Gateway 動作制御」画面が表示されます。



Gateway 動作制御

### 3.1.4. センサが接続済みであることを確認する

「Gateway 動作制御」画面の下部にて 4 つのセンサが接続済みであることを確認します。

①「Gateway 動作制御」画面の下部を表示し、「登録済デバイス」の数と「表」の ID を確認します。

登録済デバイス:4

※「デバイス」は「センサ」のことです。

登録済デバイス:4

ID	EP	Desc.	Point-1	Point-2	Point-3
04018615	02-32-00	A.C. Current Clamp	PF	DIV	CH
058000DB	05-00-01	Contacts and Switches	CO	LRN	
04005913	05-00-01	Contacts and Switches	CO1	LRN1	
0502E789	05-04-01	Temperature and Humidity Sensor	HUM	TMP	TSN

Gateway 動作制御 (下部)

・ ID : 各センサに割り当てられた固有の識別番号。各センサに記載された ID 番号と同じ。

#### ●センサの ID 番号の確認方法

・ 温湿度センサ、ドア窓開け閉め用センサ、ドライ接点センサの ID 番号はセンサ背面の穴から確認できます



・ 1 相 CT クランプセンサは側面・背面のシールに記載された「Module ID」が ID 番号です。

#### ●英語表示のセンサ名の説明 (Desc.欄)

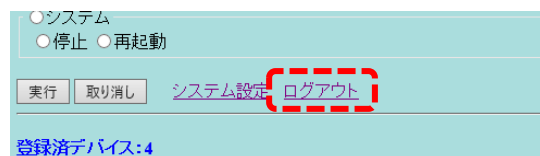
- ・ A.C. Current Clamp : 1 相 CT クランプセンサ
- ・ Temperature and Humidity Sensor : 温湿度センサ
- ・ Contacts and Switches : ドア・窓開け閉め用センサ
- ・ Contacts and Switches : ドライ接点センサ

※詳細は「付録 3 : センサの説明・追加・登録」「付録 5 : センサとデータポイント」をご覧ください。

センサの接続確認は以上です。

続いて、「4. インターネット接続を確認/設定」します。

上記を行わない場合は、「ログアウト」をクリックして、Gateway コントローラーを終了します。



Gateway 動作制御

### 3.2. センサの接続を確認 (DHCP を利用しない)

以下をご準備ください。

- LAN ポート付きパソコン
  - OS : Windows (弊社推奨 : Windows10)
  - Web ブラウザ : Internet Explorer (弊社推奨 : Internet Explorer 11)
- EnOcean IoT スターターキット利用開始通知書 (以下、「利用開始通知書」と表示します)

#### 3.2.1. パソコンのイーサネットを設定する

パソコンのイーサネット「インターネット プロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)」に E-Kit を設定するための IP アドレスを追加します。

① Windows の「設定」で「ネットワークとインターネット」をクリックし、「ネットワーク接続の変更」を開きます。



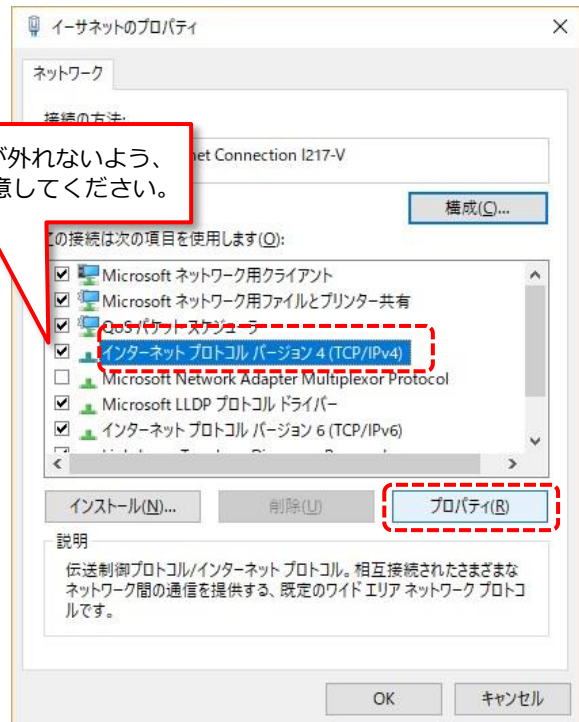
② 「ネットワーク接続の変更」で「アダプタのオプションを変更する」をクリックし、「ネットワーク接続」を開きます。



③ 「ネットワーク接続」の「イーサネット」の上で右クリックし、「プロパティ」をクリックし、「イーサネットのプロパティ」を開きます。



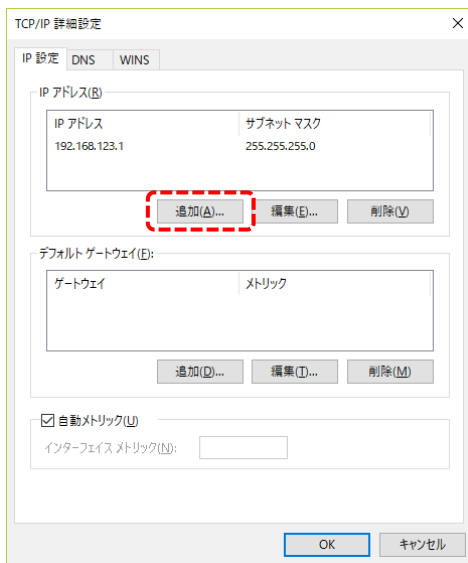
④ 「イーサネットのプロパティ」で「インターネット プロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)」をクリックして選択後、「プロパティ」ボタンをクリックします。



⑤開いた「インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)のプロパティ」で「詳細設定」ボタンをクリックします。



⑥開いた「TCP/IP 詳細設定」で「追加」ボタンをクリックします。

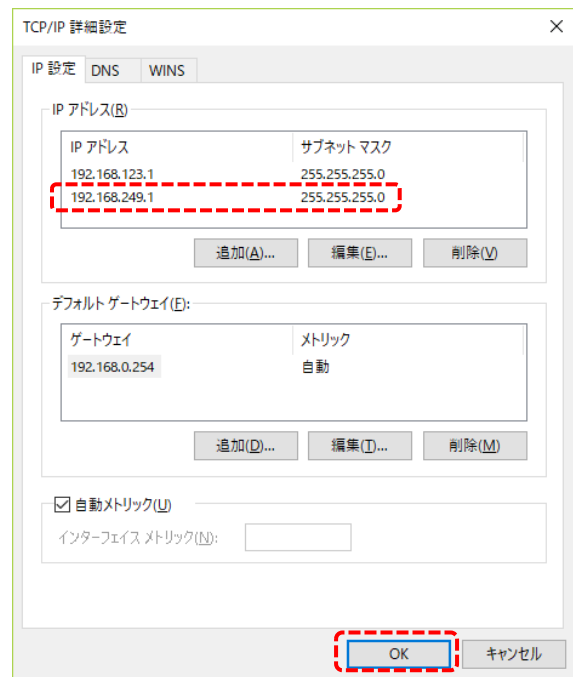


⑦開いた「TCP/IP アドレス」に以下を入力し、「追加」ボタンをクリックし、閉じます。

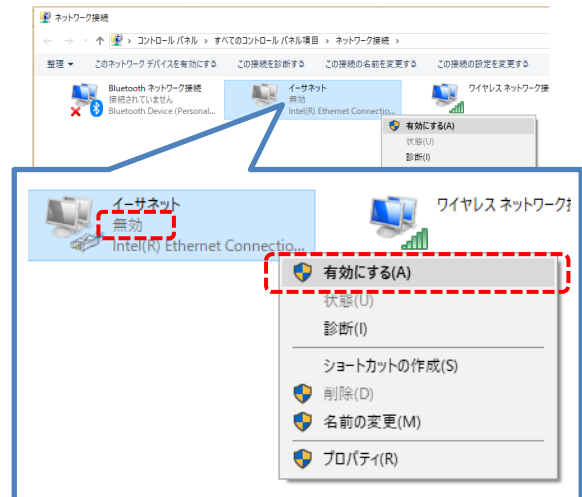
- IP アドレス : 192.168.249.1
- サブネット マスク : 255.255.255.0



⑧「TCP/IP 詳細設定」の「IP アドレス」に⑦で設定した情報が追加されていることを確認し、「OK」ボタンをクリックします。



⑨各プロパティの画面は「OK」ボタンをクリックして終了し、「ネットワーク接続」へ戻ります。「イーサネット」が「無効」になっている場合は右クリックし、「有効にする」をクリックしてください。



⑩「ネットワーク接続」、「設定」を右上☒ボタンをクリックし、終了します。

### 3.2.2. E-Kit コントローラー画面を表示する

パソコンと E-Kit を LAN ケーブルで接続し、Web ブラウザで E-Kit のコントロール画面「Gateway コントローラー」を表示します。

①『手順 2.2.②』で接続した E-Kit の LAN ケーブルをネットワーク環境から取り外します。

②パソコンの LAN ポートと E-Kit を付属の LAN ケーブルで接続します。

③Web ブラウザのアドレスバーに、以下の E-Kit 設定用 IP アドレスを入力し、エンターキーを押すと Gateway コントローラー「Gateway ログイン」画面が表示されます。

E-Kit 設定用 IP アドレス : 192.168.249.249



Web ブラウザ

### 3.2.3. コントローラー画面にログインする

①Gateway コントローラー「Gateway ログイン」画面で「Username、Password」に「利用開始通知書【E-Kit】Gateway コントローラー」の「Username、Password」を入力し、ログインします。



Gateway ログイン

②ログインに成功すると「Gateway 動作制御」画面が表示されます。

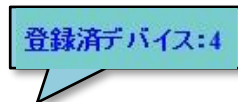


Gateway 動作制御

### 3.2.4. センサが接続済みであることを確認する

「Gateway 動作制御」画面の下部にて 4 つのセンサが接続済みであることを確認します。

①「Gateway 動作制御」画面の下部を表示し、「登録済デバイス」の数と「表」の ID を確認します。



※「デバイス」は「センサ」のことです。

登録済デバイス:4

ID	EP	Desc.	Point-1	Point-2	Point-3
0502E36E	5-04-01	Temperature and Humidity Sensor	HUM	TMP	TSN
040186E1	2-32-00	A.C. Current Clamp	PF	DIV	CH
058000D4	05-00-01	Contacts and Switches	CO		
04005909	05-00-01	Contacts and Switches	CO1		

Gateway 動作制御 (下部)

・ ID : 各センサに割り当てられた固有の識別番号。各センサに記載された ID 番号と同じ。

#### ●センサの ID 番号の確認方法

・ 温湿度センサ、ドア窓開け閉めセンサ、ドライ接点センサの ID 番号はセンサ背面の穴から確認できます。



・ 1 相 CT クランプセンサは側面・背面のシールに記載された「Module ID」が ID 番号です。

#### ●英語表示のセンサ名の説明 (Desc.欄)

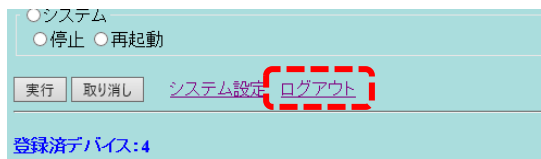
- ・ A.C. Current Clamp : 1 相 CT クランプセンサ
- ・ Temperature and Humidity Sensor : 温湿度センサ
- ・ Contacts and Switches : ドア・窓開け閉め用センサ
- ・ Contacts and Switches : ドライ接点センサ

※詳細は「付録 3 : センサの説明・追加・登録」「付録 5 : センサとデータポイント」をご覧ください。

センサの接続確認は以上です。

続いて、「4. インターネット接続を確認/設定」します。

上記を行わない場合は、「ログアウト」をクリックして、Gateway コントローラーを終了します



Gateway 動作制御



## 4. インターネット接続を確認／設定

インターネットの接続は、E-Kit の設定を行う Gateway コントローラー「Gateway システム設定」画面を Web ブラウザで表示して、IP アドレスの設定を確認・設定します。

- ・ DHCP を利用する場合は → [4.1 インターネット接続を確認 \(DHCP を利用する\)](#) へ
- ・ DHCP を利用しない場合は → [4.2. インターネット接続を設定 \(DHCP を利用しない\)](#) へ

### 4.1. インターネット接続を確認 (DHCP を利用する)

インターネット接続確認は、E-Kit の設定を行う Gateway コントローラー「Gateway システム設定」画面を Web ブラウザで表示して、IP アドレスが「自動 (DHCP)」に設定されていることを確認します。

貴社のネットワーク環境よりインターネットに接続できるよう、設定してください。

#### 4.1.1. コントローラー画面にログインする

① Gateway コントローラー「Gateway ログイン」画面でログインし、「Gateway 動作制御」画面を表示します。

Gateway 動作制御

- 「Gateway ログイン」画面の表示手順『手順 3.1.1. ～ 3.1.3.』で、Gateway コントローラーを表示し、ログインします。

#### 4.1.2. システム設定画面で設定確認する

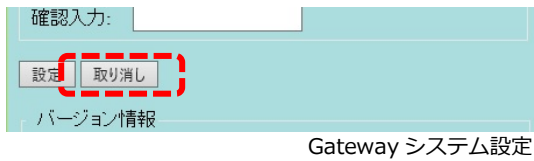
① 「Gateway 動作制御」画面で「システム設定」をクリックし、「Gateway システム設定」画面に切り替えます。

Gateway 動作制御

② 「Gateway システム設定」画面で、「IP アドレス」は「自動 (DHCP)」のラジオボタンが選択されていることを確認します。

Gateway システム設定

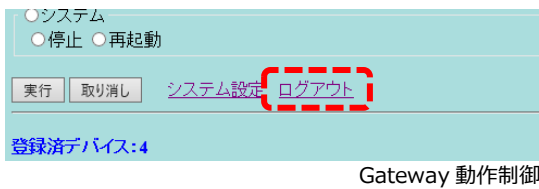
③確認ができたなら、「取り消し」ボタンをクリックし、「Gateway 動作制御」画面に戻ります。



インターネットの接続確認は以上です。

続いて、「5. iBRESS Cloud 接続を確認」します。

上記を行わない場合は、「ログアウト」をクリックして、Gateway コントローラーを終了します



## 4.2. インターネット接続を設定（DHCP を利用しない）

DHCP を利用しない場合は、インターネット接続設定を行う必要があります。

インターネット接続設定は、E-Kit の設定を行う Gateway コントローラー「Gateway システム設定」画面で IP アドレスを手動設定します。

貴社のネットワーク環境よりインターネットに接続できるよう、設定してください。

### 4.2.1. コントローラー画面にログインする

『手順 3.2.1.』を実施してから以降へ進んでください。

①パソコンの LAN ポートと E-Kit を付属の LAN ケーブルで接続します。

②Web ブラウザのアドレスバーに、以下の E-Kit 設定用 IP アドレスを入力し、「Gateway ログイン」画面を表示します。

E-Kit 設定用 IP アドレス : 192.168.249.249



Web ブラウザ

③「Gateway ログイン」画面でログインし、「Gateway 動作制御」画面を表示します。

Gateway 動作制御

### 4.2.2. システム設定画面で IP アドレスを設定する

①「Gateway 動作制御」画面で「システム設定」をクリックし、「Gateway システム設定」画面に切り替えます。

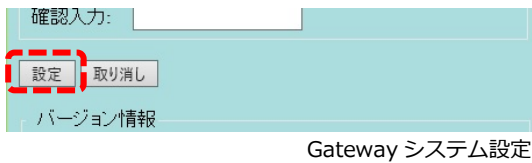
Gateway 動作制御

②「Gateway システム設定」画面の「IP アドレス」のラジオボタンをクリックします。「手動設定」のラジオボタンをクリックし、「IP アドレス」以下の入力枠に情報を入力します。

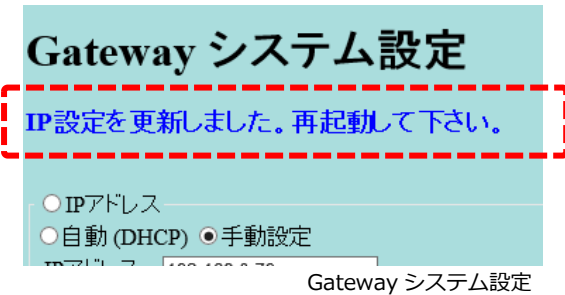
Gateway システム設定

貴社設定の IP アドレス、ネットワーク情報を入力してください。  
※ドメイン名は入力の省略が可能です。

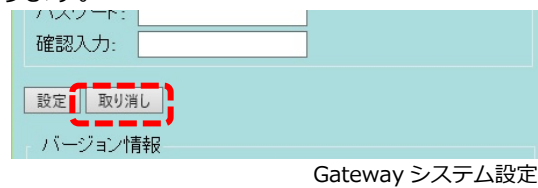
③入力後、「設定」ボタンをクリックします。



④「IP 設定を更新しました。再起動してください。」のメッセージが表示されます。

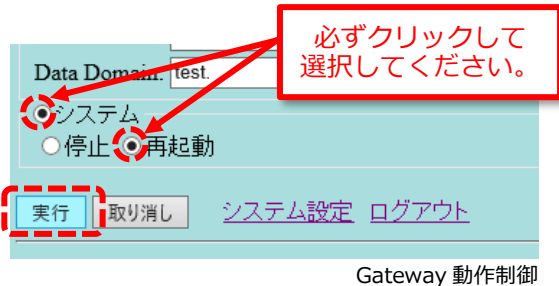


⑤④のメッセージを確認したら、「取り消し」ボタンをクリックし、「Gateway 動作制御」画面へ戻ります。

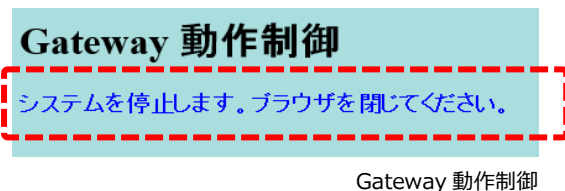


⑥「Gateway 動作制御」画面の「システム」のラジオボタンをクリックします。

「再起動」のラジオボタンをクリックし、「実行」ボタンをクリックします。



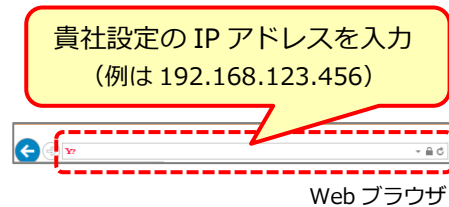
⑦「システムを停止します。ブラウザを閉じてください。」のメッセージが表示されます。



⑧Web ブラウザを閉じます。

### 4.2.3. 設定した IP アドレスを確認する

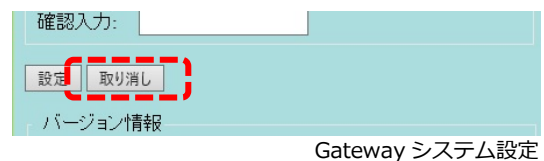
①Web ブラウザを開いた後、30 秒以上経過してから、再度 Web ブラウザのアドレスバーに、貴社設定の IP アドレスを入力し、「Gateway ログイン」画面を表示し、ログインします。



②「Gateway システム設定」画面で、「IP アドレス」は「手動設定」のラジオボタンが選択され、『手順 4.2.2.②』で入力した各設定が表示されていることを確認します。



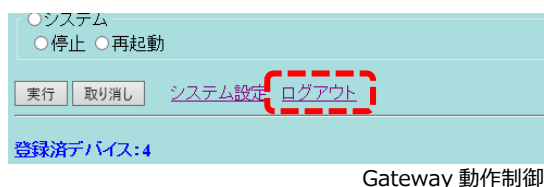
③確認ができれば、「取り消し」ボタンをクリックし、「Gateway 動作制御」画面に戻ります。



インターネットの接続設定は以上です。

続いて、「5. iBRESS Cloud 接続を確認」します。

上記を行わない場合は、「ログアウト」をクリックして、Gateway コントローラーを終了します



## 5. iBRESS Cloud 接続設定を確認

iBRESS Cloud の接続確認は、パソコンの Web ブラウザ Internet Explorer を使って行います。

以下をご準備ください。

- ・インターネット環境に接続されたパソコン
  - ・ OS : Windows (弊社推奨 : Windows10)
  - ・ Web ブラウザ : Internet Explorer (弊社推奨 : Internet Explorer 11)
- ・ 利用開始通知書

### 5.1. コントローラー画面にログインする

①「Gateway 動作制御」画面で「iBRESS ETK」の各欄に「利用開始通知書【E-Kit】iBRESS ETK、CogentDatahub 接続情報」の「Host、Data Domain、User Name、Password」が表示されていることを確認します。

Gateway 動作制御

運用中

● EnOcean 動作モード  
○ モニター ○ 新規登録 ○ 追加登録 ○ 運用

○ iBRESS ETK

Host: iB12345678.ibresscloud.com  
Data Domain: iB12345678\_01  
User Name: iB12345678  
Password: [masked]

Gateway 動作制御

EnOcean IoT スターターキット 利用開始通知書

この度は「EnOcean IoT スターターキット」をお買い上げいただき、ありがとうございます。  
下記の通りお客様の環境の準備が整いました。ご確認のほど、よろしくお願いいたします。

【E-Kit】	
Gateway コントローラー	
設置用 IP アドレス	192.168.249.249
Username	admin
Password	admin
iBRESS ETK Cogent Datahub 接続情報	
Host	iB12345678.ibresscloud.com
Data Domain	iB12345678_ABC00001
User Name	iB12345678/user01
Password	User1234

EnOcean IoT スターターキット 利用開始通知書

【注意！】

「Gateway 動作制御」画面の「User Name」は、「/」以降の文字が表示されない場合があります。

これは Web ブラウザの表示機能による現象です。iBRESS ETK の設定は変更されません。

※iBRESS ETK の設定を変更する際は、「利用開始通知書」の「User Name」を「/」以降の文字を含め、全て入力してください。

### 5.2. iBRESS Cloud を表示する

①Web ブラウザ Internet Explorer を起動し、アドレスバーに「利用開始通知書」の「【iBRESS Cloud・WebView】iBRESS Cloud【本番環境情報】」の「WebView ログイン URL」を入力します。



【iBRESS Cloud・WebView】	
iBRESS Cloud【本番環境情報】	
サービスタイプ	Basic
機種ID	iB12345678
WebView ログイン URL	https://iB12345678.ibresscloud.com
データドメイン	iB12345678_ABC00001
ユーザー情報	
ID	user01

EnOcean IoT スターターキット 利用開始通知書

②「iBRESS Cloud ログイン画面」が表示されます。

iBRESS Cloud ログイン

iBRESS Cloud の接続確認は以上です。

続いて「6.監視画面の表示を確認」を行います。

## 6. 監視画面の表示を確認

監視画面を Web ブラウザで表示して確認します。

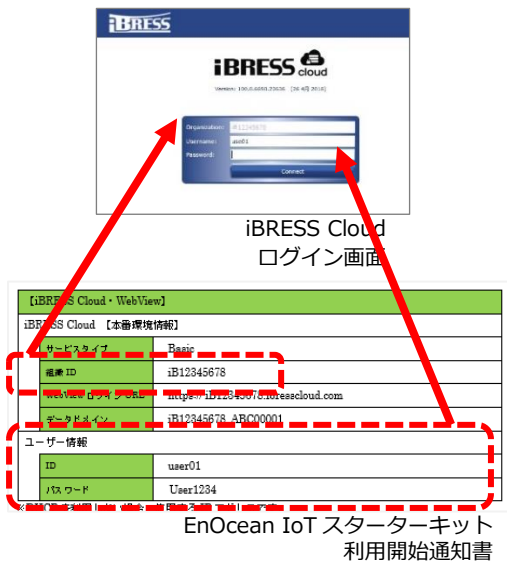
以下をご準備ください。

- ・インターネット環境に接続されたパソコン
  - ・ OS : Windows (弊社推奨 : Windows10)
  - ・ Web ブラウザ : Internet Explorer (弊社推奨 : Internet Explorer 11)
  - ・ Microsoft Silverlight
- ・ 利用開始通知書

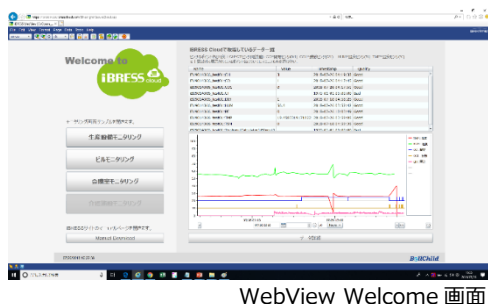
### 6.1. 監視画面を表示する

Web ブラウザ Internet Explorer で「Web View Welcome 画面」が表示されることを確認します。

① 「iBRESS Cloud ログイン」画面の「Organization」に「利用開始通知書【iBRESS Cloud・Web View】iBRESS Cloud【本番環境情報】」の「組織 ID」を、「Username」、「Password」に「【iBRESS Cloud・WebView】ユーザー情報」の「ID」、「パスワード」を入力し、ログインします。



② ログインに成功すると「Web View Welcome 画面」が表示されます。



※Silverlight がインストールされていない場合、Web ブラウザ上でインストールを促す画面が表示されます。表示に従い、インストールしてください。



監視画面の表示確認は以上です。

続いて、「7. センサデータの状態変化を確認」します。

**【注意！】**  
WebView 画面を表示する際は、必ず Internet Explorer を利用してください。

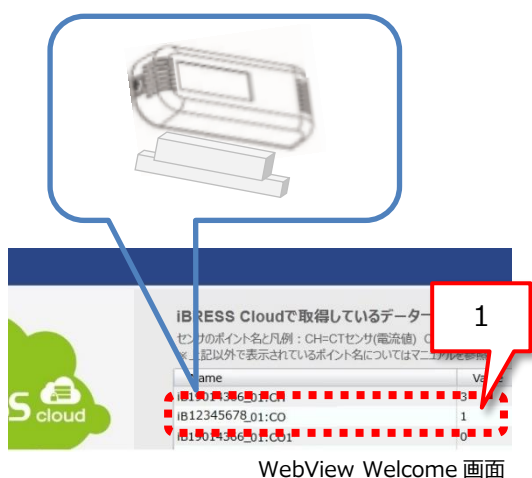
## 7. センサデータの状態変化を確認

センサデータの値に変更があった場合、WebView にその変更が反映されることを確認します。

### 7.1. センサデータを変更、確認する

センサのデータに変更があった場合、WebView Welcome 画面に変更が反映され、数値等が変化することを確認します。

①「ドア・窓用開け閉めセンサ」の本体とマグネットをぴったり重ねます。WebView 画面のデータポイント (CO) が「1」になっていることを確認します。



WebView Welcome 画面

②次にマグネットを 5mm 以上を離して、データポイント (CO) が「0」に変化したことを Web View 画面で確認します。



WebView Welcome 画面

センサデータの状態変化の確認は以上です。

※センサデータの送信間隔は「付録 5 : センサとデータポイント」をご覧ください。